

はやりの「事業仕分け」、さてさて西尾版は??
平坂勤労会館ホール、開始の時はほぼ満場。
100人近くの傍聴者が詰めかけて始まりました。

初っ端は「六万石くるりんバス」。

「交通弱者のための施策」との事業目的・概要の説明に対して…

- ・ 乗客動向の調査（年代）はどのように行われているか
- ・ 運行状況は適正か、使い勝手はどうか
- ・ 近隣に比べてコストはどうか
- ・ 今後の需要見込みをどう見ているか
- ・ 3町からの運行要望にどう対処していくのか
- ・ 路線バスとの関係性…くるりんの開始で路線バスへの補助金は減ったか
- ・ 目的に合った事業展開となっているかどうか
- ・ 他の移送サービスとの関係はどうか
- ・ デマンドバスの形態を考えていく時ではないか
- ・ この事業に併設されている「交通会議」の開催状況
- ・ ほとんど開かれていない「交通会議」をもっと活発化させて、事業報告をし、意見も訊くべきではないか…などなど。

ほとんどが、

これまで決算時や議会質問で指摘されていることばかりでしたけど、
15名の市民判定員の結論は、「運行を続けつつ、内容を見直す」となりました。
市民や外部の人の指摘には、キッチリ耳を傾けてもらいましょうね。

加えて、私は思います。

要望の強い地域については、住民全体に対するニーズ調査、
運行した場合に利用責任をもってもらえるかどうかも含めた話し合いを重ねて、
進めていくべきです（この点は、これまで度々、指摘してきました）
単にこの1事業の「費用対効果」測定だけでなく、他事業への影響への着目も含め、
市としての「交通計画」が必須です。